



シュクラン日記 ～No. 12～

2022. 7. 26

アラブニュース！！

ARAB NEWS
JAPAN SAUDI ARABIA MIDDLE EAST
BUSINESS FEATURES ARTS & CULTURE JP |

Feature

Trending
The Jujutsu Kaisen 0 movie is coming to Middle East cinemas

14 Jul 2022

Professional Japanese Judo coach spreads his knowledge in the UAE

13 Jul 2022

'Little chance' of Japan hosting 2023 Asian Cup: JFA

12 Jul 2022

Minority Report: Arab News highlights Druze faith in latest Deep Dive

アッサロームアレイクム！こんにちは！
先日アラブニュースに私の記事を掲載して頂きました！

アラブニュースの記者の方とは昨年のADIHEXで出会い、(ADIHEXに関しては[シュクラン日記No. 5](#)を一読ください。)その時は連絡先を交換し、「またいつか取材させてね～」と、軽い会話で終わったのですが、ADIHEXから約10カ月が経った今月、突然その記者の方から連絡を頂き、記事を掲載して頂く運びとなりました！

頂いた質問書に回答し、その内容を記者の方が文章にまとめてくれたのですが、1つ1つ質問に回答しながら、これが最終的にどういう内容になるのかわからず、果たしてこんな回答で大丈夫なのかと少し心配でした。しかし掲載された記事を読んでも、凄く良い文章にまとめてくださり、私の回答も上手く取り入れながら、活動紹介もしてくれていました！！「記事読んだよ」と声を掛けて頂くこともあり、色々な人に私の活動を知って頂くいい機会になりました！！

もしよければご一読ください！

↓↓↓

ENGLISH: <https://arab.news/r4dfr>

日本語: <https://arab.news/8h97g>

7月の活動報告

7月4日から約1週間、フジャイラにてトレーニングキャンプが開催されました。このトレーニングキャンプは7月16日からタイで開催されるアジア大会に向けての合宿でした。合宿中は毎日2部練習、午前はフィジカルトレーニング、午後は柔道の練習を中心に行いました。

また今回は今までとは少し違い、柔道連盟が選手たちに危機感を持たせたいということで、最終的な試合参加者は合宿最終日まで伝えない一方で、合宿参加者全員が試合に行けるわけではないと選手たちに伝え、選手間で競争心や危機感を持たせる作戦を取りました。私個人的には、減量がある選手もいるので、なるべく早く試合に行く選手を伝えてあげたかったのですが、後から振り返ってみるとこの作戦はUAEの選手たちにはフィットしていたように感じました！ またこの作戦が功を奏したのか、あるいは久しぶりの合宿・大会で選手たちのモチベーションが高かったのか、今までの国内合宿で一番選手たちの努力を見られた合宿でもありました！

〈午前の練習の様子〉



(サーキットトレーニング)



(尻尾取りゲーム)

UAEは現在非常に暑く、日中は外を歩くことが出来ません。その為、室内でのトレーニングがベースになりますが、選手たちはクロスフィットやサーキットトレーニングは好んで行うので、ハードなメニューでも一生懸命取り組んでいました。またゲーム形式の競いごと也喜欢なようで、外を走れない代わりに鬼ごっこや尻尾取りゲームを行うと「もう一回もう一回」とこちらがストップをかけるまで汗だくになりながら取り組んでくれました！

〈午後の練習の様子〉



夏休み期間ということもあり、午後の柔道の練習にはナショナルチーム以外にもたくさんの選手が参加してくれました。乱取を多く取り入れつつも、寝技や立ち技の技術指導も行うことができました。また以前までの合宿では乱取中サボろうとする選手がちらほらいたので、「練習しろ」「休むな」と声を掛けることが多々あったのですが、今回はその声かけも非常に少なく済みました。

またこれら以外にも、合宿全体を通して選手たちの嬉しい変化も垣間見ることが出来ました！合宿も後半に差し掛かったころ、2名の選手がどうしても外を走りたいと申し出てくれたので、「朝5時からなら走れるけど、朝練と午後練は休ませないよ？」という「それでも走りたい！」と言ってきたので、朝5時に起きて一緒に走り、その日その選手2名は3部練を行いました。



またある日の練習後には、ジュニアの選手が指揮を執り、ナショナルメンバー全員でスピード打ち込みに取り組む姿も見ることが出来ました。これまでナショナルの選手が自主的に練習を追加する姿を見たことが無かったので、「強くなりたい」「試合に出たい」という気持ちが少しずつ芽生えてきているのかなと少し嬉しい気持ちになりました！



さて、このように選手の変化も感じることができ、実りある合宿になったわけですが、残念ながらアジア大会への出場は取りやめとなりました。7月というバケーションシー

ズンも相まって航空券の値段が高く、また座席も限られていたので試合出場者全員の航空券の確保が難しかったことが原因のようです。柔道連盟は試合や合宿の手続きがいつもギリギリなので、いつかこのような問題が起こるのではないかと考えていましたが、案の定今回起こってしまい、非常に残念でやるせない気持ちになりました。特に17歳以下(カデ)の選手は昨年9月にエジプトで開催されたアラビック大会以降、国際大会に出場できていないので、久しぶりのチャンスがなくなり、落胆も大きかったです。本当に選手たちには申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、「今後必ず試合があるからそれまで頑張ろう」と励まし、選手からも「連盟はいつもこうだから気にしちゃいけないよ！」と逆に慰めてもらい、雨降って地固まるといえますか、このようなトラブルを経て、また少し選手たちと心の距離が縮まった気がしました。

なかなか思うようにいかない部分もありますが、めげることなく今後も地道に頑張ろうと思います！

芦田 弘毅

